

年 組 名前

次の（ ）に入る言葉をスライドプリントから探して記入しましょう（30点満点）

<看護の意義・看護理論>

1. 看護とは、人々の健康を尊び、病気の時にはその（ア）を取り除き、健康の回復を助け、健やかな人生を歩むことを支援する（イ）に基づいた援助行為である。
2. 看護の必須条件を表す基本概念とは、（ウ）・（エ）・（オ）である。
3. 看護の目的とは、患者の（カ）を守り、苦痛を緩和して（キ）を図り、日常生活を（ク）へと導くことによって、健康の回復・（ケ）・増進を図ることである。
4. 患者の（コ）・（サ）準備を整え、苦痛を緩和し、安全・安楽を守ることが早期回復に役立つ。
5. 看護の対象を理解する上において大切な人間の3つの側面とは、（シ）側面・（ス）側面、（セ）側面である。
6. 人間は誰でも生きていくうえで欠くことのできない基本的な（ソ）を持っている。生命の維持に直結する（タ）・生理的欲求を土台にして、他の人間とのつながりを求める（チ）欲求が現れ、またその上に、他人からの（ツ）を求める欲求やより人間らしく自分らしく生きたいといった（テ）を目指す欲求が現れる。米国の心理学者（ト）が提唱した欲求階層説は、あくまでも一般論であり、人間の欲求は、いつも必ずこのような段階を追って現れるとは限らない。また、その欲求の満たし方にも（ナ）がある。しかし、人間は常に欲求を（ニ）にしながら生き続けているということは看護する上において重要である。
7. 看護理論の構成要素とは、（ヌ）、（ネ）、（ノ）の3つである。
8. 看護の主な理論家のうち、フローレンス・ナイチンゲールは、（ハ）論を、ヒルデガルト・ペプロウは、（ヒ）モデル、ヴァージニアA・ヘンダーソンは、（フ）論、ドロセアE・オレムは、（ヘ）論を提唱した。このうち、看護の精神的な側面を考慮した最初の理論家は、（ホ）である。